

平成30年度 NIE 実践報告

鹿児島市立荒田小学校

1 本年度のNIE実践の目標

新聞に親しみや関心が少ない児童に、新聞を目にする機会を多く持たないことで、新聞に対する抵抗感を少なくし、親しめるようにする。

2 実践内容

(1) 表現のための新聞活用

新聞投稿をしたり、1分間スピーチに新聞記事の感想を取り入れたりした。

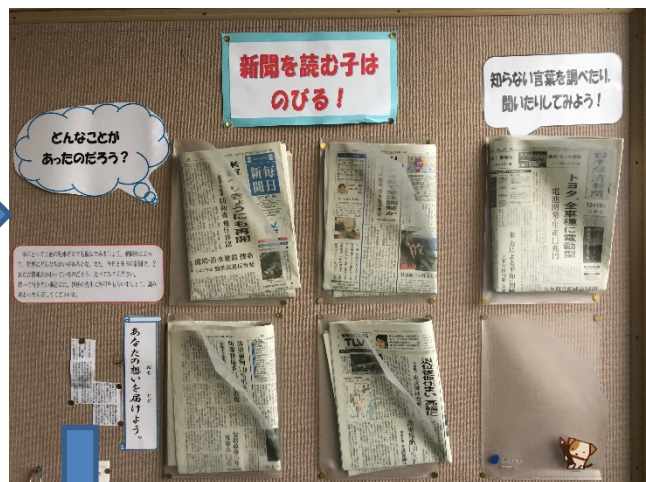
(2) 新聞の掲示

新聞を目にする機会を多くするために、廊下の掲示板に新聞を掲示した。足を止めて新聞を読む子どもや教師が増えてきた。さらに、各新聞社の見出しの違いに気づき、そのことを報告をする児童もいた。

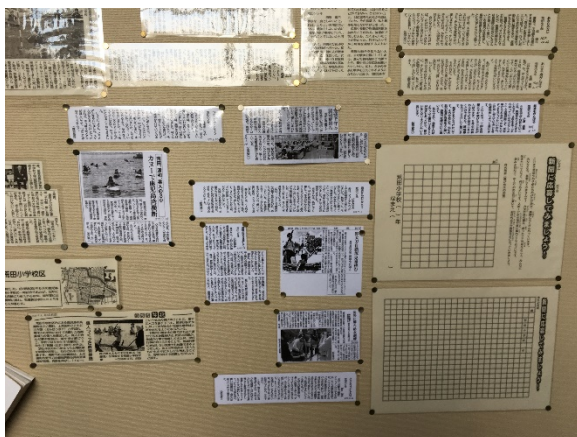
また、新聞に掲載された児童の記事(作文)を掲載することで、自分も投稿したいという意欲をかきたてるようにした。



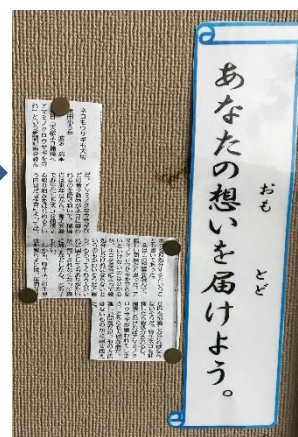
よく読む記事のアンケート



クリアファイルにいれた新聞
(目につきやすい、手に取りやすい)



新聞を掲示している掲示板



投稿された記事の掲示

(3) 新聞台の設置

昨年度作成した新聞台を引き続き使用し、新聞を目にする機会を多く持てるようにした。



(4) 授業での新聞活用



国語の単元「アップとルーズ」の文章には、映像でのアップとルーズの違いが書かれている。子どもたちから、新聞ではどのようにアップとルーズを使い分けているのかという感想がでてきた。

そこで、新聞でのアップとルーズの使い方を探す学習を取り入れた。

3 成果と課題

(1) 成果

掲示されている新聞を見る子どもが増え、新聞が身近なものになりつつある。また、語彙数が増え、表現が豊かになっていると感じる。

(2) 課題

新聞を活用した授業を行う際の手間をいかに少なくするか。